

都の空

発行所

都の空事務局

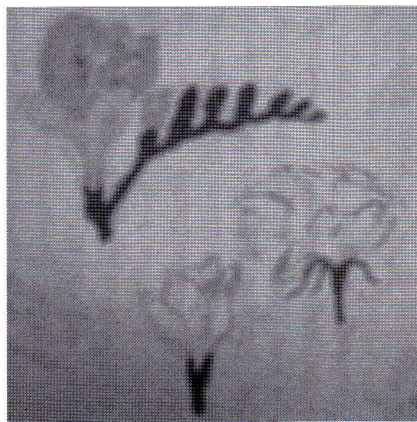
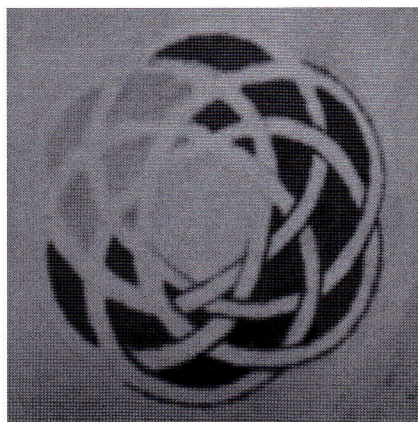
東京都台東区東上野1-24-4
丸千第二ビル2F
浅野修一事務所内
TEL 03-3835-2233
FAX 03-3832-7175



加島祥造

(かじましようぞう)

1923年、東京・神田に生まれる。府立三商9期卒、早稲田大学英文科卒、カリフォルニア州クレアモント大学院留学。信州大、横浜国大、青山学院女子短大に勤め、フォークナー、トウエインをはじめ、数多くの翻訳・著作を手がける。1993年「老子」に出会い、英語からの自由な翻訳を試みた「タオヒア・ナウ」(PARCO出版)を出版、全訳を取めた『タオー老子』(筑摩書房)とともにロングセラーとなっている。現在は、信州・伊那谷に独居し、詩作、著作のほか、墨彩画の制作をおこなっている。



東雲

東京地検特捜部は、防衛省の装備品納入で便宜供与をした見返りに、防衛省の前事務次官の守谷武昌容疑者と妻の幸子容疑者を軍需専門商社「山田洋行」元専務宮崎容疑者から多数、多額の接待を受けたとして十一月二十八日収賄容疑で逮捕した。

本件は、あまりのひどさに、連日のごとくメディアで報じられており、詳述はさけるが、十数年に及ぶ防衛省幹部と納入業者の常軌を逸した癒着である。ゴルフ三百回、赤坂カラオケ、賭け麻雀等々である。防衛予算は約五兆円であり、人件費等をのぞいて軍用機から制服まで、装備品に投じられる税金は年二兆円程度だという。防衛秘密等を口実に、その実態は外から見えにくい状態となっている。日本の安全保障に直結する装備品の調達に、業者との癒着によって、どのようにゆがめられていたかについて、国民、納税者の厳しい監視の目が向けられている。検査は、民主国家の基本である三権分立のシステムをフル回転して、国民の疑惑を晴らすことに全力を挙げてほしい。立法院は立法として、関係閣僚、業者等を証人喚問し、参考人招致し国民の負託に応えなければならぬ。また本件を契機に、会計検査院のあり方についても、独立性の強化、強制捜査権の付与等税理士、公認会計士、弁護士等参画の抜本的な改革も急務であると考えられる。

ごあいさつ



三商同窓会
会長 木戸 隆 吉

今年は、天候不順で暑い日が長く続き、二週間前後のずれで、秋が短くて天気予報では、ラニーニャ現象で今冬は、厳しい寒さがあると伝えてあります。このような陽気の中、会計人会の皆様には如何お過ごしですか、お伺い申し上げます。

三商では、来年一月三十一日に、創立八十周年を迎えるに当り、平成二十年一月十二日(土)に、江東区施設の「テアラ江東」に於て記念式典、祝賀会を開催する運びになっていきます。特に貴会には、同窓会の処出金を募ったところ、快く多大のご寄付をいただき、尚個人的募金にもご理解を頂き、ご協力を頂きました事、誠に有難く、誌上をお借りして、ご寄付の程心より厚く御礼申し上げます。
ご存じの通り七十周年から八十周年の十年間は、激動の十年間と

云えます。長い間三商卒の教職員の方々から成る同窓会も、平成十五年からは、ご担当の先生方が皆無となり、必然的に同窓会の主体は、一期以降の卒業生からの同窓生に運営を任せられることになり、私が推されて会長となり、資料の受け継ぎに苦勞し、役員の人選、評議員の決定づけに苦慮し、やっとスタートしたところ、まもなく都立高の統廃合の波にもまれ、三商は二次の統廃合の中に載っているとの話も出て、大変心配しました。幸いにその頃、越中島の背景「豊洲、晴海」が活気づき、又有明、枝川あたりに、二十階マンション、四十階建て超高層マンション、そして特に六十八階建てのタワーマンションに住民が増えて、小中学校とも満杯の状況です。従って三商に入学者の生徒数も増大する見込みがあるので、統廃合の憂き目には、遭わないことになりました。又地理的に「豊洲、晴海」へは、三商の運動場を月島通りより、越中島へ向かい右折して「ららぽーと」があり、お台場海浜公園とならび大きな享楽地となり、新宿を凌ぐ一大名所になること請け合いで、三商は、その名

所の玄関口に当ります。このように将来の展望が明るさを増し、商業高校では「三商」「一商」「芝商」の三校は、永遠に残るだろうと、現校長「柴田哲」先生が語っておられました。会計人会の皆様には、このようなすばらしい三商を経て「ライセンス」を取得し、数と質と共に、日本一の商業高校として、胸を張り、「世の為、人の為、そ

“老”について

児 玉 透
昭和二十六年卒

私は若い頃大病に患された。寿命も普通の人よりは長くはないと思っていた。七十才まで生きればいいかなと思っていた。私の肺の機能が普通の人に比べると七十%位だと医者から言われたので、そう思っていたのかも知れない。既に七十を過ぎた今、糖尿だの血糖値が高いなどといわれても日常の生活ではなんの病的気配はない。先日も奈良から宝生寺長谷寺と石塔の多い寺を歩いた。翌週には上高地へ行ったが特に疲れは感じなかった。年をとると物忘れが激しくなるというが、私は昔から記憶力がいい方ではない、記憶力が良ければ高校時代英語の単語等安々と覚えられ、英語等自由に操られただろうと思う。

して後継者の育成」にも力を注いでいただき、創立八十周年記念事業を同窓会、教職員、PTA、在校生共に、お祝い申し上げようではありませんか、会計人会様には、今後共同会には変わらないご支援、ご協力をお願いし、貴会の益々のご発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げて、ごあいさつと致します。

氏が九十才でかくしゃくとして出演されていた。毎週何回か英会話を習っているとのことである。また元東大教授最高裁判事の団藤重光氏も九十才を超えられた最近書かれた対話集「反骨のコツ」では最近の凶悪犯罪が増加する中、死刑制度存続の多い世論の中、裁判制度に反論され、その関連としても死刑廃止論をとうとう論ぜられていのである、単に老害をさらすだけでは長生きも意味はない。長生きのためには不断の目標をもった努力練磨が大切なのであろう。我々の業界においては会社法的全目的改正又税法の多くの分野に亘る改正、電子申告といった我々世代の者にとっては思ってもみなかった制度の導入と、めまぐるしく変わって、そうゆう新しい時

代に対応するには若い者の力を借りて、若い者には負けない”なんという強がりはいわず、なおがんばるだけがんばってみたいと思っている。私の好きな「菜根譚」のかの一文

日既暮 而猶烟霞绚烂
歲將晚 而更橙橘芳馨
故末路晚年
君子更宜 精神百倍

恩師である清田先生から同期会の折、早くボケる人とボケない人の十ヶ条という印刷物をいただいた。
「早くボケる人」の方は省略し、「早くボケない人」の方を紹介する。

- 一、常に感謝し、ゆとりのある人。
 - 二、本や新聞を読み日記をつける人。
 - 三、手足をよく使う人。
 - 四、人の世話をする人。
 - 五、ハイカラさん。
 - 六、酒をたしなみ、歌をうたうなど、陽気な人。
 - 七、友人が多く、つきあいの良い人。
 - 八、趣味多く旅行やスポーツを好みつづける人。
 - 九、奉仕の精神旺盛な人。
 - 十、異性に関心を持ちつづける人。
- この中で私は日記だけは書いておき、時々読み返している。芝居、音楽会の感想その他を書いておくことは頭の中に記憶しておく必要がないので良いのかも知れない。

第十五回定期総会、懇親会開催される

浅野修一
(昭和二十九年卒)

三商会計人会第十五回定期総会、懇親会は、平成十九年六月十八日(月)午後二時より両国の大関庵にて開催された。

出席者は、来賓として東葭時雄先生、木戸隆吉同窓会会長、会員は好川栄一會長ほか児玉透、増田昌弘、荻野弘康、石川昭、浅野修一の八名である。

東葭時雄先生、木戸隆吉同窓会会長のご挨拶と同窓会活動状況の報告のあと、好川栄一會長を議長に選任し議案の審議に入った。

- 第一号議案 平成十八年度事業報告承認に関する件
- 第二号議案 平成十八年度収支報告に関する件
- 第三号議案 平成十九年度事業計画承認に関する件
- 第四号議案 平成十九年度収支予算案承認に関する件

以上全ての議案は承認可決されました。

そのうち平成十八年度収支報告書と平成十九年度収支予算案は次のとおりです。

平成19年度収支予算案 平成19.4.1~20.3.31	平成18年度収支報告 平成18.4.1~19.3.31
収入の部 円	収入の部 円
前期繰越金 1,410,929	前期繰越金 1,533,223
会費収入 150,000	会費収入 150,000
合計 1,560,929	合計 1,683,223
支出の部	支出の部
総会費 50,000	総会費 54,784
機関誌費 130,000	機関誌費 112,770
市民講師補助 100,000	市民講師補助 100,000
母校80周年記念寄付 50,000	雑費 4,740
雑費 30,000	次期繰越金 1,410,929
予備費 1,200,929	
合計 1,560,929	合計 1,683,223

本年は、母校八十周年になるので各団体に五万円の寄付の要請がありこれを本年度の予算に計上させて頂きました。
定期総会終了後懇親会に入り、全員が所感を表明し和やかに懇談し、定期総会、懇親会ともに終了した。

都立三商OB団体

浅野修一
(昭和二十九年卒)

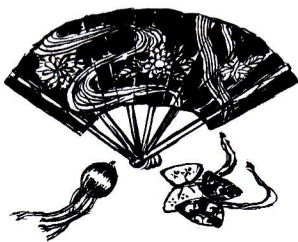
交流会開催される

都立三商OB団体交流会は、平成十九年十月二十日午後五時三十分より東天紅両国店にて開催された。

この会は、平成十五年にはじめて開催され今回三回目の開催である。三商会計人会からは児玉透、荻野弘康、石川昭、浅野修一の四名が出席した。

出席者は、柴田 哲学校長、同窓会役員、三水会、会計人会、三珠会、三文会、剣友会、テニス部、卓球部、女子ボレーボール部、レスリング部、陸上競技部など総勢四十四名である。
来賓挨拶として柴田 哲学校長のご挨拶などのあと懇談

に入り、中間で各団体の報告があり、三商会計人会からは荻野弘康会員が三商会計人会を代表として力強く活動報告がなされた。
和気あいあいのうちに懇談が続いたが、最後に校歌、及び応援歌を参加者全員で斉唱して散会した。



校歌

作詞 前田夕暮
作曲 山田耕柞

- 一 都の空はあけたり今
希望に燃ゆる若きわれら
都立第三商業 ここに抛るや
日本の富を担ふわれら
- 二 富岳の雪を望む窓辺
理想は高し 若きわれら
都立三商業 ここに居るや
都の栄えを築くわれら
- 三 東都の海の門にありて
心は潤し 若きわれら
都立三商業 ここに立つや
江戸のほこりを継げるわれら

人生いろいろ

増田昌弘

第十九期卒業

「二度あることは三度ある」とよく云われますが三商会計人ニュース「都の空」に九号、十号につき十一号にも寄稿を依頼されました。

制度的な問題は日本橋支部会報で「商法改悪問題について」「付加価値税導入に反対する論点」

「商法改正の問題点と経緯について」「商工会議所、商工会への顧問税理士派遣制度について」等々その時、その時の問題点について論文を寄稿しておりますので、ここでは制度問題ではなく島倉千代子の歌ではございませんが「人生いろいろ」人それぞれに、いろいろ経験をしますが、私が経験をしてきた一端を思い出すままに書かせていただくことといたしました。

私は昭和十五年に豊島区巣鴨にあった仰高北小学校に入学しました。昭和十六年に大東亜戦争が勃発し、昭和十九年に長野県小県郡室賀村（現在川西村）の前松寺というお寺に集団疎開をしました。この事は「都の空」九号で紹介済みですが、終戦後十年ぐら以後に前松寺会のメンバー数名でお世話になった室賀村を訪問し、前松寺は

じめ室賀村に寄付をしたところ、学校、警察署、消防団、老人会、婦人会の皆様が前松寺に集り大歓迎してくれました。私は村の機能が停止してしまうのではないかと心配したほどでした。この事が信濃読売新聞に掲載されました。またお世話になったお寺さんや寮母さんを東京に招待し、目黒の雅叙園に宿泊してもらい東京見物にご案内したりもしました。現在でも稀に前松寺を訪問しております。

東京税理士会の年男の座談会に出席したとき、この集団疎開当時の「ノミ」「シラミ」の話をしましたところ大笑いとなりました。

小学校を卒業し都立三商に入学したのですが、三商時代の件は九号でその悪戯鬼ぶりは紹介済みです。昭和二十七年に早稲田大学に入学してまもなく三商時代の友人七・八名で熱海に旅行をしたのですが、夜旅館のホールでダンスを楽しむはずでしたが、一緒にいった連中で一人だけしかダンスが踊れず、私達は指をくわえて見ているだけでした。東京に帰って来て指をくわえて見ているだけだった連中で一念発起、

高田馬場にあったユートピアダンス教習所に入会した。一緒に習った友人の第十九期卒業の萩倉君（学習院大学卒業）はアマチュアダンス大会で優勝した。

私もダンスに熱中し、新橋のフロリダ、銀座の松坂屋の地下にあったオアシス、五反田のカサブランカ、浅草の松屋の中にあつた隅田ホール等ダンスホールに通つた。私はバンカラでいつも高下駄で闊歩していたが。ある日友人と銀座の松坂屋の地下にあつたオアシスで待ち合わせをしていた、その日も合憎高下駄だったので中へ入れてくれず、「友人が中にいるので絶対ダンスは踊らない」と云つて強引に中へ入れてもらった。ダンスホールに高下駄で入つたのは私ぐらいだろう。

野球の早慶戦で早稲田が勝利し新宿の武蔵野館の前でワッシュヨイワッシュヨイと氣勢を上げた後、七・八人で飲みに行つた。いざ勘定となつたら誰もお金を持つておらず、皆誰かがお金を持つていて思つたのだろう。やむなく一人を人質に置き他の連中は時計を「マゲ」に質屋に走つた。人質に置かれた人が「間違ひなく帰つてきてくれよな」と半ペソで云つたのを今懐かしく思い出している。お金がないということ思い出したのは、私は昭和三十五年に結婚

し妻と相談して新婚旅行を九州に行く計画をしたがお金がなくて熱海になってしまった。九州旅行が実現したのは二十年後であつた。

また私は豊島区のアパートに住んでいたが湿気がちで畳にナメクジが這うことがあつた。

そして銭湯に行くお金がなく一ヶ月間風呂に入れなかつた。そのような状況なのに馬鹿な泥棒に入られた。雨戸をこじ開け、ガラス窓を焼き切り、子供の布団の上に靴の足跡、そして海苔箱、カツ節箱が開けられていた。泥棒が他で海苔箱、カツ節箱の中の臍練りを見つけたのでしょうか。犯人を追跡している本庁の刑事が来て被害はと聞かれたので「ガラス窓を壊された件、子供の布団の足跡の件、海苔箱、カツ節箱を汚いので捨てた件」を答えたら、「他に被害は」と聞かれ「他にありません、むしろお金を置いていつてもらいたかつた」と云つたら刑事が苦笑いをしていた。

また私はダンスだけじゃなく麻雀にも夢中になつていた。三商の先輩である日下部与市先生の簿記論を選択したが麻雀をやつていて試験を受けるのを忘れ「保留」となつてしまい、日下部先生の研究室に行き「私は三商の後輩でございます追試験を受けさせて下さい」とお願いし追試験を受けさせてい

ただ「秀」をいただいた、三商の後輩というのがよかつたかな！

また大学では第二外国語を履修しなければならず私はフランス語を選んだ。三年生になるとフランス語経済学を履修しなければならず、英語だつて良く分からないのにフランス語なんて全然解らない状態だつた。試験の数日前にその資料を電車の網棚の上に忘れ紛失してしまい試験を受けなかつたら当然「保留」となつた。そこでその担当の教授（公認会計士士補の試験委員を務めていた）の家にウイスキーを持って追試験のお願いに行つた。普通はウイスキーを置いて帰つてくるのですが、私はそのウイスキーを教授と一緒に飲み、いろいろと話をし、ウイスキーを全部飲んで帰つた。教授との話の中で教授が「増田さんフランス語をどう思つている」と聞かれたので私は「フランス語が社会に出てどんな役に立つか疑問であり、ヤル気がしない」といつたら、教授曰く「フランス語を覚え

たか覚えなからではなくヤツタカヤラナイかなんだ」と云われた。いうなれば優越感なんだなあと感じました。研究室で追試験を受けさせていただき、「良」をいただき単位を取ることが出来た。これも一緒にウイスキーを飲んだおかげだと思つた。このようにダンス、

麻雀等学生時代を楽しく謳歌したので「君は優秀なので後一年残れ」ということで卒業迄五年間を要してしまった。大学を卒業してからは学生時代とは打って変わって灰色の生活となった。会社に勤務しながら税理士試験に向けて寝食を忘れ夢中で勉強した。おかげで九号にも書いたとおり昭和三十八年第十三回の税理士試験に合格することが出来た。

「都の空」十号の私の文章の中で印刷ミスがありましたので訂正させていただきます。

私が日本税理士会連合会の商法対策特別委員会の委員長に就任したとき商法改正問題が浮上し、その中に最低資本金制度が入っており、これを潰すために陳情活動を行ったが、十号の中で「法務政務事務官」とあるのは印刷ミスで

「法務政務次官」です。当時の次官は九州出身の波多野忠文先生で私が直接お会いし最低資本金制度について陳情した。その時法務政務次官の波多野忠文先生と意気統一合し、「増田さん私が次官の間何時でも来なさい」と云って下さった。しかしながらその後の総選挙で残念ながら落選してしまった。しかしながら波多野忠文法務政務次官のおかげでその時は最低資本金制度は潰すことが出来た。昨年ある会合で安倍内閣の時に

官房長官を務められた塩崎官房長官の親父さんの塩崎潤先生にお会いしたとき、この最低資本金制度について波多野忠文法務政務次官に陳情した件をお話したら、塩崎潤先生が「波多野忠文君は良く知っているよ、これからも税理士会のことをいろいろ知りたいから何かあったら連絡下さい」と云われた。

塩崎潤先生は九十才なお意気軒昂で、酒もガブガブ飲み益々お元氣であった。

商法問題は学者先生方が「机上の空論」で二転三転し、国民が大変迷惑している。

いろいろと私の経験した一端を思い出すままに書きましたが、一読して一笑に付して下さい。

私もすでに七十四才、妻も七十二才、結婚二十五年の銀婚式には妻を初めて外国旅行（オーストラリア）に連れて行きました。後三年で結婚五十年の金婚式を迎えるわけですが、今度は何処へ連れていくか検討中です。

後何年生きられるか解りませんが苦労を掛けた妻とこれから残った人生を楽しくそして悔いのない人生を送って生きたいと考えております。



おもいのまま

石川 昭
昭和三十三年卒

・二年前、人間ドックで健診、高血糖値で糖尿病と診断され、薬一日一個と食事は腹八分、間食はダメ、甘い菓子はダメ、・・・で一年経過、数値の改善（r-GTは126から81、ヘモグロビンA1cは9.0から6.2など）はあったが体調の実感があまり感じられない状況です。このまままた一年経過・・・健康診断と関係なしに、二、三年前からそろそろ事務所の閉じ方（業務廃止）とその後の生き方をどうしよう？？は、昨年からの進展のない状況。

・母校三商の市民講師を三商会計人会の一員として引き受けて、いつの間にか十年余、年齢、マンネリ化等を思うと、早く交代しなければと！、どなたか？やってみませんか！ ご連絡を！

概要は一昨年の「都の空」を見て下さい。この一九年度の生徒数は昨年の異変から例年通りの九名（昨年は二十七名）と元に戻りました。授業は六月から始まり九月、十月、十一月の四ヶ月間時間で三十六時間の講義。最近の講義

内容は、前半で租税法の基礎「教科書は現代税法の基礎知識を使用」中間四時間を憲法（全文を読む）、後半は、具体的な税法でこれからの主要税目である消費税を勉強して貰っています。

・税制改正論議が新聞を賑わす時季、参院選の結果、ねじれ国会、安倍首相突然の退陣、福田首相誕生、小澤騒動と、立法院の機能なし、そんな中で消費税の増税必要論議が急浮上、一方で、毎日のように報道される税の無駄遣い、年金の無駄遣い、杜撰な事務処理・・・、思うに歳出の徹底的削減が真剣に検討されないのは何故だろうか？

・特殊支配同族会社の対象会社が十二万社であったよう、財務省は約五万社といていたが（過小宣伝）

・総務省が十二億円を掛けて作ったシステムが年間十六件しか使われていない、社保庁の莫大なシステム費用等々、税金の無駄使い、裏金作り、非効率な使用等何故なくならないのか？会計検査院の強

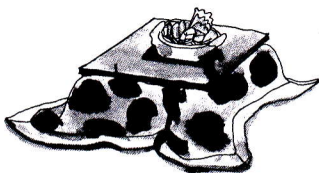
化（人員増、効率向上など）、不正に対する罰則強化と共に国民がもっと怒らなければ！また、相変わらずの小会社社に対する非効率な税務調査。

・税理士、税理士事務所の職員による一般的な税務相談については、自己解決を図ること、また相談事案については顧問先、事案等を具体的に特定しての事前予約制と大変相談しにくくなっています。ある程度は理解するが、相談する方は後で採ること避けるため、規制するなら、過去の相談、回答事例を、もつともつと開示すべきだと思ふ。

・今年も残り少なく、忘年会の予定、年末調整業務の準備等気にながら、テレビで九州場所の初日を見ながらこの原稿を書いています。

編集の先生には何時も原稿が遅くなり申し訳ありません。

以上



会則

第一章 総則

- 第一条 本会は三商会人会と称す。
- 第二条 本会は会員相互の親睦をはかり、且つ、東京都立第三商業高等学校における簿記会計分野の学科の学習充実に寄与することを目的とする。
- 第三条 本会は本部を会長宅に置く。

第二章 会員

- 第四条 本会の会員は三商同窓会生にして、左記の資格のうちの一を有する。
 - 一、公認会計士・税理士等の職業会計人。
 - 二、会計学者。
 - 三、当会が特に入会を認めたるもの。
- 第五条 会費は(年二千円)必要の都度納入されるものとする。

第三章 役員

- 第六条 本会に左記の役員を置く。
 - 会長 一名 副会長 三名
 - 幹事 若干名 監事 二名
- 第七条 会長、副会長、幹事においては会員の中より選出する。
- 第八条 役員任期は二年とする。会長は本会を代表し、会務を統理する。
 - 会長は幹事会及び総会の議長となる。
 - 副会長は会長を補佐し、会長に事故ありたるときは、これを代理する。
- 第九条 幹事は本会則の規定により会務を掌理するほか、会長、副会長共に事故あるときは互選によつてその職務を代理とする。
- 第十条 本会の役員は任期満了後も、後任の就任までその職に在する者とする。但し、再選を妨げない。
- 第十一条 幹事会は、正副会長、幹事をもつて組織し、本会所定の事項のほか総会の委任による重要事項を議決する。

但し、緊急の場合は幹事会の決議をもつて総会の議決に代えることができる。

第四章 総会

- 第十二条 幹事会は会長が必要と認めるときは、または幹事の過半数の請求があつたとき会長がこれを招集する。
- 第十三条 本会の幹事会の決議を経て顧問及び参与をおくことができる。
- 第十四条 総会は毎年六月に開催するものとし、臨時総会は必要の都度開催するものとする。
- 第十五条 総会は会長がこれを招集する。
- 第十六条 総会の議事は出席者の過半数を以て決定し、可否同数のときは議長がこれを決する。

三商会計人会事務局

東京都台東区東上野1丁目24番4号
 丸干第二ビル2階 浅野修一事務所内
 電話 03 (3835) 2 2 3 3 番 (代表)
 FAX 03 (3832) 7 1 7 5 番